

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回愛知警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月28日（水） 午後1時30分から午後3時30分までの間 ----- 愛知警察署 講堂
出 席 者	1 委員 石川 金文 会長 山田 洋子 副会長 板垣 恵美子 委員 福岡 康雄 委員 小池 洋二郎 委員 兼子 益生 委員 内山 雄三 委員 船橋 銀太郎 委員 山田 珠美 委員 以上9名（定数12名） ----- 2 警察署員 甲斐 署長 大友 副署長 細野 警務課長 桐生 会計課長 岩田 生活安全課長 大村 刑事課長 吉田 交通課長 岡島 警備課長 以上8名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	昨年の犯罪情勢を踏まえた効果的抑止対策 ～特殊詐欺被害防止～
答 申 等 の 概 要	1 最後のとりでとしての金融機関の窓口対応職員、コンビニ店員に対する未然防止意識の向上 2 地域や民生委員などとの連携による未然防止意識の向上 3 自治体と連携した特殊詐欺被害防止電話等の設置促進 4 新たな手口の周知と闇バイト防止対策
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月下旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選任
	委員の互選により、石川金文委員を会長に選出し、会長は山田洋子委員を副会長に指名した。
3	会長等、委員挨拶
4	署長挨拶、幹部紹介
5	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況(生活安全課長説明)
	(2) 管内の交通事故発生状況(交通課長説明)
6	速度取締指針の説明
	交通課長から、速度取締指針の内容について説明があった。
7	前回の答申に対する具体的施策の推進状況(警務課長説明)
	(1) 諮問事項
	効果的な採用活動方策
	(2) 答申事項
	ア 柔剣道等、スポーツに注目した採用活動
	イ 多様な人材確保のための民間企業等への啓発活動
	ウ 専門技能を持つ人材への啓発活動
	エ イメージ払拭のための警察官の私生活を含めた魅力発信
	オ 就活希望者に対する具体的な説明
	カ 中学生職場体験によるイメージ向上
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
キ	警察職員という選択肢の積極的な広報
ク	若手に限らず、全員リクルーターになったの積極的な広報
(3) 推進施策	
	小学校3年生対象の、出前授業及び署見学を実施
	中学生対象の、職業体験、職業人の話を聞く会を実施
	管内大学採用担当者への採用活動協力依頼のための訪問
	管内駅、商業施設に採用募集ポスター、デジタルサイネージの掲出を 依頼
	元自衛官や大学生の就職希望者に対し、業務説明会を実施
	署内で行った業務説明会、職業体験会では署長が個別面談を実施
8 諮問	
(1) 諮問事項	
	昨年 of 犯罪情勢を踏まえた効果的抑止対策
	～ 特殊詐欺被害防止～
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
	令和5年中における愛知警察署の刑法犯認知件数は、管内4自治体全て が昨年比で増加し、侵入盗や特殊詐欺被害は過去6年間で最悪であった。
	特に特殊詐欺は60歳以上の高齢者が被害に遭っており、被害件数も昨年 同期比で二倍に増加している。
	本年における刑法犯認知件数の増加を食い止めるために、特に特殊詐欺 被害を一件でも防止するため、警察署協議会委員の貴重な御意見を賜り、 今後の活動の参考とするため、今回の諮問事項とした。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
9 協議	
委員	・ キャッシュカードをすり替える被害に遭うと聞くが、どのような方法であるのか。
警察	・ 犯人が被害者方を訪問し、キャッシュカードを封筒に入れさせて封印のためと称し印鑑等を取りに行かせるよう仕向けた上で、あらかじめ用意していたトランプカード等が在中した封筒とすり替えるといった手口がある。 また最近では、犯人が被害者をおびき出して手交させる手口もある。
委員	・ オレオレ詐欺もいまだに発生しているのか。
警察	・ 今でも発生している。息子や孫を語る場合が多く、高齢女性が被害に遭う傾向がある。
委員	・ 特殊詐欺の被害者は、高齢者の被害が大半であると思う。 コンビニエンスストアや銀行のATMコーナーでの注意啓発や地区と連携した老人クラブや敬老会等、高齢者が集まる会合等において特殊詐欺の手口を周知させ、高齢者宅を訪問する民生委員と連携した広報活動も推進すればよいと思う。
委員	・ 報道で特殊詐欺被害が盛んに取り上げられているにも関わらず、資料をみると多くの被害事例があり驚いた。 被害防止は声掛けが大切である。銀行のキャッシュコーナーは窓口と完全に隔たっていることが多く、コンビニエンスストアも人が少なく、声掛けをする機会が少ないのが問題ではないか。
委員	・ 年金支給日はATMコーナーが高齢者で賑わう。また、年金が支
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<p>給された週の土曜日はスーパーマーケットが高齢者で賑っているの で、このような機会に広報活動を行うと効果的ではないかと思う。</p>		
委員	<p>・ インターネットで特殊詐欺被害防止に関するものを検索すると、 被害防止に向けたチェックリストを見つけたが、小さな文字が多く 高齢者は読まないと思う。</p> <p>・ 一目で分かる大きな文字のチェックリストを、学生コンクール等 で募集し、優秀なものを各家庭に配布して固定電話や玄関に設置し ておくと被害防止につながるのではないか。</p> <p>・ 各自治体から補助金が出るとは言え、高齢者が自動録音機能付固 定電話を購入するのは難しい場合も多いと思うので、貸出もできる よう、各自治体と連携してみるのも良いと思う。</p> <p>・ 学生が特殊詐欺の受け子にならないよう、広報活動を行うことも 必要と感じる。</p>		
委員	<p>・ 高齢者の自宅固定電話が常時留守番電話状態にしていることは少 ないと思う。一部の高齢者は「留守番電話にすると不在と思われて 泥棒に入られる。」とも言っている。</p> <p>・ 常時固定電話を留守番電話状態にすることを推進するとともに、 留守番電話に、自身の言葉で「常に留守番電話状態にしている。 用件がある方は折り返すので名前と電話番号を入れて欲しい。」と いったメッセージを入れておけば、被害に遭いにくくなるのではと 思う。</p>		
委員	<p>・ 認知症が進むと、自分で留守番電話や解除の設定もできなくなっ</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
ていく。このような方の対策も検討していく必要があると思う。	
・ 特殊詐欺被害対策電話として、知らない電話番号等からの着信があると光や音で危険であることを促す機能がついた電話機が紹介されていた。このような電話機を斡旋するのも必要であると思う。	
10 答申	
(1) 最後のとりでとしての金融機関の窓口対応職員、コンビニ店員に対する未然防止意識の向上	
(2) 地域や民生委員などとの連携による未然防止意識の向上	
(3) 自治体と連携した特殊詐欺被害防止電話等の設置促進	
(4) 新たな手口の周知と闇バイト防止対策	
11 その他	
次回の開催予定は、令和6年5月下旬とする。	
記録者	警務係長